

浜嶋です。  
こんにちは。

BVS隊の舎営を終えて、スカウトに気付かれずにうまくできたこと、計画の意図、勘違いで進んだことなどいくつか紹介したい。

## 1. 計画どおりにできたこと

### (1) 妙見山の大明神がスカウトに気づかれずにお宮さんに入ること

坂口大明神が、後から丘に上がり、スカウトに気付かれず道を通るために、「大声を出す」プログラムを実施した。

全員が隊長の方を向き、お宮さんに背を向けて声を上げる。坂口大明神は、その後ろを静かに通る。

スカウトが振り向けば簡単に見つけられてしまうところを、藤丸副長と隊長が前方に注意をそらす。

退場の場面では、来た道と反対側に下りようとしたが道はない。結果、見えないところで衣装を着替えてことなきを得た。

### (2) 大明神の正体を最後まで明かさなかった

大明神は、きつねのお面を被り、頭をタオルで包んだ。声を聞けば誰か分かるが、坂口副長は、BVS隊のスカウトといつも会っていない。

2日目も顔を見せないまま、お別れした。

### (3) 大明神、隊長、3人の神様のセリフが完璧

長いセリフのやり取りを行う。シナリオを考えるのは簡単だが、それを話すのは容易ではない。しかし、皆さん実によく準備していただいたと感心した。

### (4) キャンプファイヤーの薪は持参した薪で十分だった

倉庫にある薪はすべて使い果たした。想定した時間は30分で実際は45分ぐらいだっただろうか。

火が燃え続いていたので十分な出し物で楽しんだ。

## 2. 勘違い、失敗

### (1) いのししの子ども「WANTED」のわっぱる所長の説明

下見で副所長に説明を依頼したが、本番は所長が説明することになった。何も知らないなのでその場で説明。すでに「WANTED」は

HPに掲載されている。所長は、初めて「WANTED」のお知らせが出たと説明した。

所長の評価は、「おもしろい」とのことだった。

#### (2) 大声コンテスト

今回は、一番を決めるのではなく、各自が舎営でいたいことを声に出すという内容だ。

考えることと大きな声を出すことが難しいかもしれない。

カブ隊のお兄ちゃんはきちっと言えるがビーバーは、一人で言うのはまだ早いかもしれない。

#### (3) 保護者との懇親会

これは、疲れてできなくなった。前回と続けて中止になった。山道を歩いて戻るのも大変だ。お菓子は次回の隊集會に持ち越しとした。

次回の舎営からは計画に入れなくてもいいように思う。体験者が参加する場合は、考えてみよう。

#### (4) 大明神や神様が恐かった

スカウトが、大明神と神様を恐がった。うれしい効果というべきか。しっかり衣装が準備できたことがよかった。ごめんね。

#### (5) 火の神の杖を忘れた

今から登場するときに、杖をファイヤー場の樹木に立て懸けたまま、取りに行けなくなった。

副長にお願いして探してもらったが暗くて見つけられなかった。大明神の杖を持って登場し、自分で確認すると見つかった。副長と川辺隊長にご迷惑をかけてしまった。

#### (6) 失敗もいくつもある

今回は公開しないこととしよう。

### 3. 発見

#### (1) スカウトは、ビーバースカウトのモットーとスローガンを誰も言えなかった

「WANTED」で、最初は、第3山小屋で実施し、次は第2ファイヤー場で実施した。

いのししの画像の下には、「ビーバースカウトのモットーはなんですか」と「スローガンを知っていますか」という質問がある。

回答は、「なかよし」と「日日の善行」である。

これに答えられたら懸賞金を上げる仕組みにした。何回も言えば覚えるだろうという教育的要素を組み込んだ。スカウトは、これが一人も言えないことがわかった。

きまりは、スカウトサインで何度も言うことで覚えるが、モットーとスローガンは普段は使わない。普段から声に出すことは重要である。

カブ隊は、なかよしの輪で、「僕らのモットーいつも元気」と声を出している。

#### (2) 保護者のスタンプは、楽しかった

私は、スカウト祭は全員参加を実践している。キャンプファイヤーも全員参加でやりたかった。そのため、リーダーと保護者用のシナリオを作成した。

保護者には衣装も作成した。キャンプファイヤーは真剣に衣装を準備する方が感動を与えることをWB研修所で体験した。所員のスタンプに圧倒されたことを忘れない。

第3山小屋で練習している保護者の様子を見に行き、そこで、火の神の衣装に着替えた。保護者は、全然練習が進んでいない。ハチマキは本番で初めて付けた。

でも、アドリブを効かせて楽しくやってくれた。当日に考えるところからやってはとてもできていない。シナリオを作成してくれるとありがたいと保護者から聞いた。シナリオは1週間前に渡している。

#### (3) 火の神の髭がピンチ。両面テープがはがれない

ポンチョを切る前に、顔や頭に赤い髭を付ける作業を始めた。両面テープをはがして顔につければいい。

ところが、タオル地に食い込んだテープがはがれない。そこへ川辺隊長がやってきた。「助けてくれ!」「こんなの簡単よ!」

と手伝ってもらって、真っ赤な顔にすることができた。頭も赤くしようと取りつけていたが見せる場面を作れなかった。

川辺隊長も舎営の衣装を準備中とのことだった。「徹底的に準備しましょう」と発破をかけた。楽しみにしてください。

#### (4) 「もりの福笑い」

これは素晴らしかった。HPを見てください。あれほど面白く楽しい顔を見たことがない。目の位置と木の形が、木に命を与えたような結果になった。

#### (5) 「森の美術館」

これは2回目だが、今回は写真で風景画を残した。本当の絵画になる。この写真撮影の指示は素晴らしい結果になった。

### 4. 大明神の8月1日のメッセージが、舎営のまとめ

今回のシナリオは、ビーバースカウトのきまりが重要であることを認識させる意図がある。

大明神の秘宝は、ビーバースカウトの3つのきまりだった。それが、大明神の仕事にも重要な内容を示している。

「ちかいとおきての実践」は、ビーバースカウトからボーイスカウトまで共通に重要なことである。

また、当然に、社会においても我々が目指さないといけない基本的なことである。

ビーバースカウトのきまりが、大明神と共通のきまりであることに気づいて、改めてきまりを守ることの大切さを意識してほしい。